

## 自動運転タクシーの実現に向けた ZMP の取り組み

講演団体： (株) ZMP

株式会社 ZMP はロボットの「認知・判断・制御」に関する技術をさまざまな分野で応用して、自律移動や自動運転の開発を行っている。2015年5月、DeNA とともに合弁会社「ロボットタクシー」を設立し、自動走行技術を用いた無人運転タクシーサービスを2020年までに事業化することを目指している。複雑な交通環境である市街地の自動運転には課題も多々あるが、サービス運行する走行経路や範囲を限定することにより、遭遇するシナリオを限定するアプローチをとっている。

また、自動運転の実現に向けては法規制が問題となるが、法整備に向けた検討や自動運転のガイドライン作り、及び国家戦略特区による規制緩和などの動きが始まっている。

技術課題を解決し、同時に社会受容性を高めていくためには、公道での実証実験を積み重ねて行くことが重要と考えており、名古屋や神奈川県湘南エリアでの実証実験を開始している。

自動運転技術は、複数のレーザーセンサー、ミリ波レーダー等のセンサ類及びカメラからの大量の情報を処理し、今後を予測した高度な判断を求められる。ZMP は、道路インフラに極力依存しない自律型の自動運転技術の実現を目指しており、カメラによる画像認識技術にディープラーニングを活用して認識率の向上を図っている。

